

国文学研究

第百八十四集

江嶋為信の学問の一齣としての『太平記』受容

——『脇屋義助卿縁起』の成立——

田中尚子 1

林鶯峰と邵康節

——詩体の模倣から詩境の反芻へ——

李國寧 15

『諸国百物語』論

——「厠」「雪隠」の怪異という観点から——

塚野晶子 27

『猿蓑』卷之五所収四歌仙の発句・脇句の付合

——付合語を用いた解釈から見る芭蕉俳諧の連歌的要素——

大城悦子 40

『阿部一族』論

——為政者の描き方をめぐって——

中村圭祐 54

近世節用集の作者について

——カタカナ表記で出現する語とコンテキストとの関連——

高梨信博 67

増地ひとみ 105

〈書評〉

日下力著『平家物語』という世界文学』 ワトソン・マイケル 83

中山弘明著『溶解する文学研究 島崎藤村と〈学問史〉』

大井田義彰 87

新刊紹介 彙報 編集後記

『先代旧事本紀』兼永本・兼右本の関係

松本弘毅

大和物語の〈二人妻譚〉をめぐる考察

小山清文

——百四十九段から「はいずみ」へ——

『篁物語』の構成と言葉

陣野英則

『更級日記』と『浜松中納言物語』における「隠し据え」

——『源氏物語』受容と物語創作をめぐる——

大塚誠也

広義逆接接続詞小考

森山卓郎

〈資料紹介〉

会津八一とその手紙

杉本つとむ

前 号 目 次

〈書評〉

渡瀬淳子著 『室町の知的基盤と言説形成』

仮名本『曾我物語』とその周辺

中本大

大城悦子著 『芭蕉の俳諧構成意識——其角・蕪村との比較を交えて——』

東聖子

滝口明祥著 『太宰治ブームの系譜』

松本和也

新刊紹介 彙報 編集後記